

はじめに

目黒区は、平成17年に「めぐろ芸術文化振興プラン」を策定し、芸術文化振興の取組を続けてまいりました。

今、策定から10年を迎えようとしており、2020年には文化の祭典でもある東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催をひかえております。

多くの海外からの来訪者との多文化共生などを通して、人々の中に新しい芸術文化を生み出す創造性や、多様な価値観を受入れる寛容性が育まれることが期待され、また、地域で引継いできた伝統文化の価値を再認識させてくれることが期待されます。

様々に変化する社会情勢や区民要望に対応し、新たな展開や時代のニーズに即したプランにするため、今回「めぐろ芸術文化振興プラン」を改定いたしました。

芸術文化の分野は、人々が年齢、性別、所得や国籍などにとらわれることなく、芸術文化という共通事項をきっかけとし、様々な境界を超えて人と人との「縁」を結ぶことができます。

目黒区は、この「縁」を「文化縁」と呼び、その形成に力を入れてまいりました。

これからも、区民の皆様が普段から芸術文化に触れられ、自ら身近な芸術文化活動に関わり、芸術文化によるコミュニケーションが活発になることを目的としてまいります。

目黒区芸術文化振興計画改定懇話会からいただいた意見書の中で、美山座長は、『「文化縁」は、芸術文化の振興であるとともに、まちづくり、観光や交流にもつながり、目黒区の魅力づくり、発信につながる理念と実践を統合した言葉である』とおっしゃっています。

そのお言葉のとおり、目黒区はこの芸術文化の振興とともに、観光や国際交流をはじめとする様々な分野との連携を検討し、方向性をプランに盛り込んでおります。

今回の改定にあたりまして、望まれる目黒区の芸術文化について、現状分析に加え、区民の意識調査、区民意見の募集及び利用者アンケートなど様々な方法で捉え、新しいプランに反映してまいりました。

本区の芸術文化振興につきまして熱心に討議を重ね、意見書をまとめていただきました目黒区芸術文化振興計画改定懇話会の皆様、意識調査にご協力いただきました区民の皆様、貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました区民の皆様並びに日頃から目黒区の芸術文化施設をご利用いただいている皆様に改めてお礼を申し上げます。

平成28年3月

目黒区長